

49 夕方になって、父が風をおろそうとした時です。

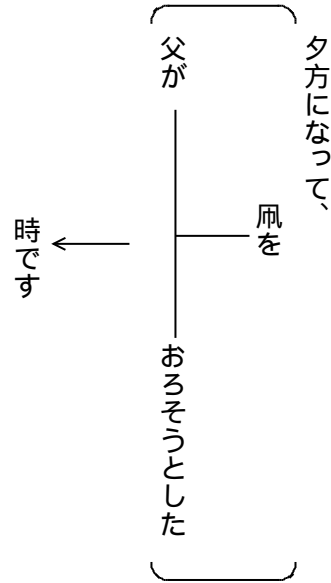
50 とつぜん、一発の銃声がひびき、たまが父のむねをつらぬいたんです。

51 父は、その場にばったりたおれ、父の手をはなれた風は、ひもを引きずりながら、「どこまでもどこまでも飛んでいってしまったそうです。」

52 遠い山なみのみねに雪がかがやいていて、巴御前の風は、夕焼けにそまりながら、ぐんぐん小さくなっていったそうです。

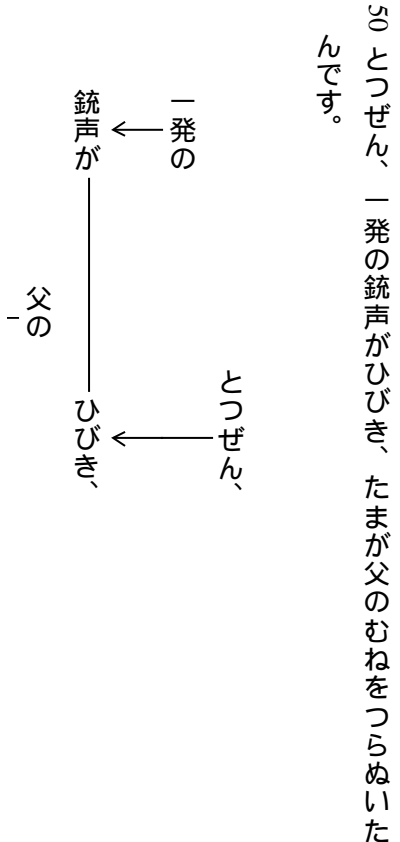
53 わたしは、その風を見たわけではありませんのに、それが今でもはっきり見えるような気がします。

夕方になって、父が風をおろそうとした時です。

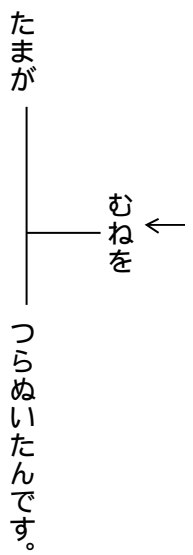


比較  
 父が風をおろそうとした時です。  
 父がたこをおろそうとしました。

- ・いつのことが書いてありますか。
- ・夕方
- ・夕方になったときのこと
- ・父が風をおろそうとした時のこと
- ・この日はどんな日でしたか。
- ・一日中風をあげた日
- ・天気の良い日
- ・風を見て、兵隊たちがいろんなことを考えた日
- ・この日の空はどんな空でしょう。
- ・真っ青な空。
- ・夕方は、夕焼け空。
- ・だれが、どうしたと書いてありますか。
- ・父が、おろそうとした
- ・「おろそうとした」ということは。
- ・まだおろしていない。
- ・風のところに行った。
- ・くっつけていた風をおろそうとした。
- ・どんな気持ちでおろそうとしたのでしょうか。
- ・今日も楽しかった。
- ・明日もまたあげよう。
- ・やっぱり風はいいな。
- ・みんなも風が好きなんだな。
- ・今日も家族も元気に過ごせただろう。
- ・一日終わってほっとした。
- ・友江はいい子にしてたかな。
- ・気軽な感じ。
- ・\*満足感に浸りながら、娘の絵をかいた風を幸せいっぱいな気持ちでおろそうとしたことをおさえる。
- ・「時です」と書いてあるとどんな感じがしますか。
- ・次に何かが起こる感じがする。
- ・時が止まった感じがする。
- ・「とつぜん」ということばはどんなときに使いますか。
- ・急に何かが起こるとき。
- ・思いがけないことが起こるとき。
- ・びっくりしたとき。
- ・二つのことが書いてあります。何が、どうしたと書いてありますか。
- ・銃声が、ひびき
- ・たまが、つらぬいた



とつぜん、一発の銃声がひびき、たまが父のむねをつらぬいたんです。



銃声  
銃を撃ったときに起こる音。

とつぜん【突然】

物事が思いもかけず行われるさま。だしぬけに。いきなり。突如。

ひびく【響く】

音が遠くまで達する。

ある場所で大きな音や声が発せられて、大きく聞こえる。

音や声が反響したり共振したりしてはっきりと聞こえる。

余韻が長く続く。

振動が伝わる。

名声などが世間に広く伝わる。とどろく。

悪い影響を与える。たたる。

心に感銘を与える。心にしみる。

ある発言が、やや違った意味に聞こえる。

とりざたする。騒ぐ。

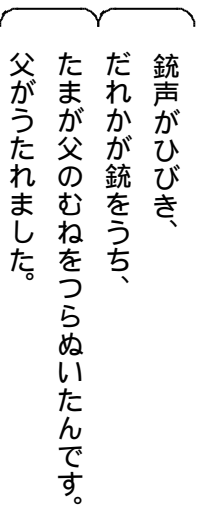
つらぬく【貫く】

物の端から端まで、または、表から裏へ通す。

始めから終わりまで、方針や考えを変えないで続ける。

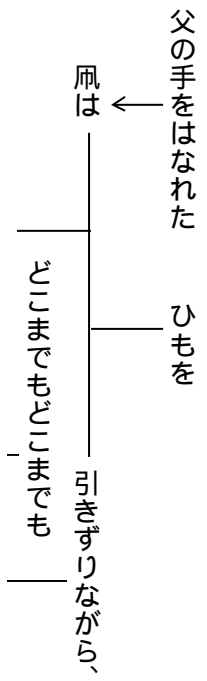
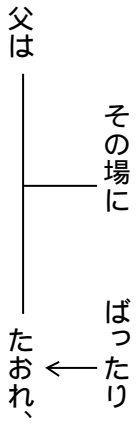
糸などを通して、一続きのものにする。

比較



中どめ？

「父は、その場にはったりたおれ、父の手をはなれた凧は、ひもを引きずりながら、どこまでもどこまでも飛んでいってしまったそうです。」



簡単に言つとどついうことですか。

- ・だれかが、銃をうち、
- ・父がうたれたんです。

「銃声がひびき」と「だれかが銃をうち」を比べるとどんな感じがしますか。

- ・だれが撃ったかわからない。
- ・突然撃たれた感じがする。
- ・静かなところで大きな音がした感じがする。
- ・「たまがつらぬいた」と「父がうたれた」を比べるとどんな感じがしますか。
- ・すごい勢いだった。
- ・残酷
- ・たまが当たったのではなく、通りぬけた。
- ・この状況を見たのはだれですか。
- ・戦友
- ・隊長
- ・戦友は何を見ていたのでしょうか。
- ・父さん
- ・凧
- ・撃った人(少年兵)の方は見ていない。
- ・お父さんは、うたれるというのをわかっていたのでしょうか。
- ・わかっていなかった。
- ・「とつぜん」という言葉があるから、思いがけないことが急に起こった。
- ・\*前ぶれもなく予期せぬできごとが起こり、前の場面と状況が一転してしまったことをおさえる。
- ・この文からどんな感じがしますか。
- ・さみしい感じがする。
- ・残酷な感じがする。
- ・父
- ・父はどうしましたか。
- ・たおれた
- ・たおれた様子がどのように書いてありますか。
- ・その場に
- ・ばったり
- ・「その場に」「ばったり」から、どんな感じがしますか。
- ・一歩も動けなかった。
- ・一瞬で気を失ってたおれた。
- ・即死だった。
- ・苦しむこともなかった。

飛んでいってしまったそうです。

ぱったり

ものが落ちたり倒れたりするさま。

偶然出会うさま。

急に与えるさま。

ぱったり

比較的軽いものが落ちたり倒れたりするさま。

急に与えるさま。

ぱたり

重いものが倒れるときの鈍い音を表す語。 ばたん。

戸などをあけたてする音を表す語。 ばたん。

急に途切れるさま。

引きずる

床や地面に触れたままで物を引っばって行く。

長く垂れ下がって床や地面をこするようにする。

無理に引っ張る。

だらだらと長びかせる。

( ) 受け身の形で(影響される。しよつと思わないのに、ついそうさせられる。

しく

ある動作をしてからとおのくことをあらわす。途中で動作をすることもある。

ある動作や状態をしながらいくことをあらわす。

むこうへとおのく移動やはたらきかけをあらわす。

くしまつ

主体や対象の変化が終了することをあらわす。また、一定量のものがぜんぶ終了することを表す。

話の展開のなかで場面を転換させるような変化や動作が成立することをあらわす。

予期しなかったこと、期待しなかったことがおこることをあらわす。

比較

飛んだ。  
飛んでいった。  
飛んでいってしまった。

もう一つ、この文には何のことが書いてありますか。

・ 凧  
凧はどつたと書いてありますか。

・ 引きずりながら

・ 飛んでいってしまった

「しくしまった」からわかることは何ですか。

・ してはいけないのにした。

・ そうなってほしくなかった。

・ どんなふうに飛んでいってしまったのですか。

・ ひもを引きずりながら。

・ どこまでもどこまでも

\* 高く飛んでいったのではなく、遠くに飛んでいっていることをおさえる。

この凧の様子はどんな感じがしますか。

・ 飛んでいきたくない。

・ 父さんから、友江が遠ざかっていってしまった。

52 遠い山なみのみねに雪がかがやいていて、巴御前の凧は、夕焼けにそまりながら、ぐんぐん小さくなっていったそうです。

遠い

山なみの

雪がどつたと書いてありますか。

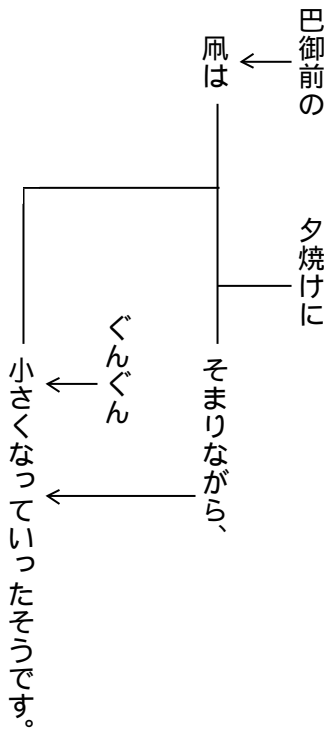
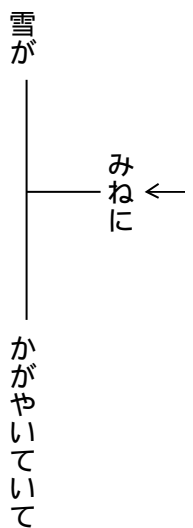
・ かがやいていて

何の光で輝いているのですか。

・ 太陽

・ 夕日

どこに輝いていますか。



山なみ【山並み】

山の連なり並んでいること。また、その並んでいる山々。

みね

山のひとときわ高くなった所。山のいただき。頂上。山頂。ね。のように高くなっている部分。

刀剣などの刃の、背の部分。

かがやく【輝く】

それ自体が強い光を出したり、他から強い光を受けたりして、まぶしい光をはなつ。生き生きとした様子・態度をみなぎらせる。名誉・名声などを得て光っているように見える。強い光のため目がちかちかする。恥ずかしがる。てれる。

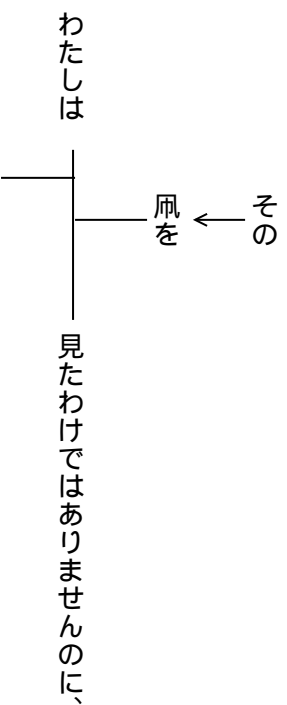
そまる【染まる】

色がつく。その色になる。( )よくないもの(影響を受けて、その傾向をもつ。感化される。

ぐんぐん

物事の進み方のはやいさま。また、力強いさま。どんどん。ぐいぐい。

53 わたしは、その凧を見たわけではありませんのに、それが今でもはつきり見えるような気がします。



・遠い山並みのみねに。

\* (雪が積もった) 那岐山を思い浮かべさせ、「遠い山なみのみね」を頭にえがかせる。

雪が何色に見えるのでしょうか。

・雪だから白。

・雪が輝いているから銀色。

・夕日で輝いているから赤。

凧はどうだと書いてありますか。

・そまりながら

・小さくなっていったそうです。

「夕焼けにそまりながら」「ぐんぐん小さくなっていったそうです」から、どんな感じがしますか。

・だんだん赤色が濃くなっていった。

・あつというまに小さくなった。

・見る見るうちに行ってしまった。

・生き物みたいに自分の力で飛んでいっている。

凧が夕焼けにそまりながら飛んでいく様子は、想像するときれいな景色ですね。でも、目の前ではどうなっていますか。

・父さんがたおれている。

・父さんが死んでいる。

・敵がいる。

戦友たちはいつから凧を見ているのですか。

・父さんがおるそつとしたとき。

・父さんがうたれる前。

・父さんがうたれたとき。

凧は、飛んでいってしまっって、小さくなっていったのだから、長い時間が経っていますね。戦友たちは、どんな気持ちになっただと思いますか。

・行かないでほしい。

・ひもをつかまえない。

・自分たちの願いもどこか遠くに行ってしまうそうです。

・父さんと一緒に天国に向かっているのかな。

・何が起こったのかわからない。

だれのことか書いてありますか。

・わたし

わたしはどうだと書いてありますか。

・見たわけではありませんのに

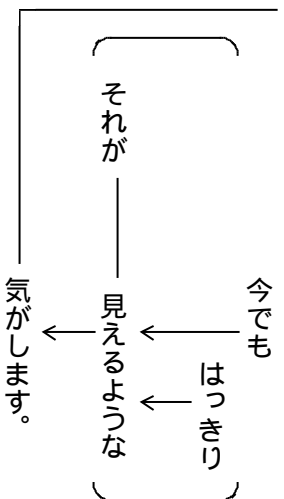
・気がします

・見えるような気がします。

わたしはその凧を見たことがありますか。

・ありません。

「見えるような気がします」ということからわかることは何



わけ【訳】

「わけではない」「わけにはいかない」などの言い方で「物事・状態を、それに含まれている理由・事情などをも含めて漠然とさす。…とらふこと」。

ですか。

・本当は見えない。

・想像できる。

見たことがないけど想像できるということですね。どうして想像できるかというところ、この時のことは吉野さんから聞いたのですね。

「今でも」ということばから、何がわかりますか。

・前にも見えた。

・吉野さんから聞いたときにも見えた。

「その風」というのは、どんな風ですか。

・父ちゃんが一日中あげていた風

・父ちゃんが夕方、おそろとした風

・父ちゃんが作った風

・家族への思いがいつぱいつまった風

・父の手をはなれた風

・飛んでいつてしまった風

「それ」は何を指していますか。

・父さんがあげていた風

・風が飛んでいつてしまっている様子

友江は、最初に吉野さんからこのときの話を聞いたとき、どう思ったのでしょうか。

・父さんは、いつも私たちのことを思ってくれていたんだな。

・父さん、かわいそうだな。

・父さんが空に飛んでいつてみたいだな。

・父さんを殺した人を許さない。